八小学童クラブ保護者アンケート課題と対策

保護者の皆さまには、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
回答率：41％でした。八小学童クラブは今年度１施設増え、教室も間に支援学級があることで制限も多くありましたが、小学校さんのご協力によって、学童クラブに入所の子どもが多く入ることができたのは、本当に良かったと思います。
急な児童と新しい教室の準備で新学期スタートの前後は手探りの状況もありましたが、職員が協力し合って育成ができておりました。

保護者アンケートで多くの皆さんが楽しく通えていて安心、友達と小さな喧嘩はあるようですが先生に相談しながら解決して過ごせているようです。働く親として学童の居場所は、とても有り難いです。などの言葉から感謝の気持ちでいっぱいです。これに甘んじることなく、ますます学びながら子どもたちの安全安心な居場所づくりをしていきます。

●連絡帳廃止に向かっています。個人的には先生方と交換日記をしているようで、とても楽しいです。

連絡帳の廃止について、さまざまなご意見をいただきながら決定いたしました。学童クラブとしても、大きな決断でしたが、子どもと目を合わせて遊んだり、話しを聞いたりする時間をとれるようになったことが一番大きなことです。
連絡帳を子どもが持ってくるまで分からなかったお休みや登所時間の変更など、子ども達の連絡帳係が３人、そこに手をとられていました。今では、子ども達が学校から帰ってくると大人に沢山のことを話します。口数の少ない子どもも目を合わすと笑顔をみせてくれます。学童クラブの１日がそんな風にスタートします。

●たまに学童内で写真などがあればいいなぁ。一年に 2～3 回でも良いから子ども遊んでいる様子をみたい。希望者だけでも個人面談などの機会をもうけてほしい。

この３年間は新型コロナウイルス感染症の影響で、職員や児童以外の出入りについて大変神経質になっておりました。5 類に移行されてということもあり、個人面談や保護者会についても随時実施していくようにしております。
保護者の方にもぜひ、子ども達が遊んでいるところを見ていただきたいと思っております。長期休みの子どもの様子やイベント時の様子など数ヶ月に 1 回程度になってしまいますが、写真つきのおたよりも発行しております。お迎えの際にもみれるように、今後検討していきたいと思います。
放課後、学童という居場所がなくなると言うことは、子どもにとっても保護者の方にとっても不安やさみしさがあることでしょう。学童で経験したことが、成長の糧となって地域へと巣立っていく子ども達を応援したいと思います。

●学童の先生が新しくなって子どもも親も名前が覚えられず先生の自己紹介写真&名前がほしいなぁと思っていました！

八小学童クラブは、児童数も多く、職員も多いため、自己紹介のお知らせがあるといいかもしれません。次年度に向けて考えていきます。

●夏休みなどの長期休みだけの利用枠を作ってほしい。平日は行く必要なくても、長期休みは必要だったりするから。 4 年生以降も通えると助かるご家庭が多いと思います 4 年生からは利用できなくなるので、親子共々不安や寂しさもありますが、これまで体験させて頂いた様々なことが素敵な思い出になると思います

１日休みのときは、１日中子どもがひとりで留守番することになるので、保護者の方々にとってはご心配だということだと思います。それは他の学童クラブの保護者からもでておりますので、法人としては、行政へそのようなご希望が出ていることを伝えていきたいと思います。

●学童での習い事などができたら、ありがたい。 連絡手段など学校との連携も図れるといいかと思います。

現時点では、習い事は難しいですが、学童ならではの体験（けん玉など）を増やしていきたいと思います. 小学校内にある学童ですので、学校と連携を図れるよう努めて参ります。

●たまに言い方のキツイ方を見ます。それを見て少し不安になりました。

ご心配をおかけして申し訳ありません。職員一人ひとりが常に自身の言動を振返り、育成の場で子どもたちにとって安心でよりよい言葉かけや支援が出来るよう、努力して参ります。

●子どもが帰宅後すぐ体調悪そうに帰宅し、熱を計ると 39.7 度の熱があった。 息子が体調悪いことを先生方に伝えられなかったのも良くないが、先生方のどなたかが気づいてくれたら・・・。

子どもの顔いろなど、気をつけるようにしておりましたが、充分でなかったのかもしれません。申し訳ありませんでした。今後、登降所時にはもちろんですが、遊んでいる際も配慮していきます。

●今年度から、職員の子どもや親に対する言葉づかいが不安に思うようになりました。

申し訳ありませんでした。職員同士が切磋琢磨していくことで改善を図っていきたいと思います。学童クラブにいる大人が、まずは正しい言葉を使っていきます。

●学童の先生がお忙しそうで、子どもが学童でどんな様子なのかお聞きしたい

保護者の方がお迎えの際は、降所時間で帰宅する子どもとお迎えなどで、どうしてもバタバタしている様子になっているかと思いますが、どうぞ遠慮無く、メールで「時間を作って欲しい」「ちょっと子どもの様子を知りたい」「最近の子どものこんなことが心配」などとご連絡いただけましたら、様子をお伝えしたり、面談日を設定することが出来ます。

保護者の方々からご家庭の様子を伺う機会にもなります。学童は保護者のかたも一緒に作

っていく場所だと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

●夏休みの昼食を、清瀬学童一律で仕出し弁当にしてもらいたい。
法人としても長期休みの昼食が保護者の方の負担になっていることを感じているところです。現状としては、夏休みの昼食に仕出し弁当を希望の保護者の方の主導でお願いしている状況です。清瀬市とも相談しながら、どういうことが出来るのか相談していきたいと思います。

●クラス間での交流がもっと増えると嬉しいです。
４月当初は、１年生が慣れていない環境のため、また、大勢の子ども達の名前を覚え、必要な支援をしていくために、学年毎のクラスになっていましたが、６月になり縦割りのクラス編成といたしました。そのことにより、他学年との関わりも増え、一人ひとりの成長もみえてきましたので、来年度は４月より、縦割りクラスの編成をいたします。

●男性の先生がもうひとりいたら男の子はもっとおもいっきり遊べるかなぁ。
男の大人がいることで学童クラブの雰囲気も変わります。男性女性にかかわらず、子ども達がのびのび遊べる環境づくりも心がけていきます。

●前が見えないくらいのものすごい土砂降りの日も時間通りの降所で全身ずぶ濡れで帰ってきた。仕事中だったので電話が遅くなったが、少し配慮してほしかった。
昨年は、６月のゲリラ豪雨や９月の線状降雨帯が降所時間と重なりました。校庭も水浸しになったり、道路も冠水する場所もありますので、子ども達の送り出しには慎重に行っております。
１人で帰ることが多いため、天気を見ながら送り出しをしており、状況によっては降所時間を遅らせる場合もあります。このタイミングでと考えて送り出したにもかかわらず、急にまた降り出してしまうこともあります。子どもさんがずぶ濡れで帰られたとのこと、本当に申し訳なく、ご心配おかけしました。
今後も充分配慮しながら、帰る途中で大雨にあったときにどうする？という話しも子ども達とする機会も持っていきたいと思います。大雨が降ったときの子どもの帰宅路が安全か清瀬市のハザードマップなどを参考にご家庭でも子どもと話す機会を持っていただきたいと思います。

●子どもの数に対して職員の数が少ないように感じます。
国の基準には満たしております。清瀬市は他の地域の学童クラブと比較し、常勤職員が規定通り配置していただいております。他の地域は常勤２名と他はパート職員だけなどの学童がまだまだ多いのが現状です。
それでも、もう少し増やしていただけたら、子ども達と出来ることが多くなると法人としては感じているところです。職員数の増員もお願いしていきたいと思います。